

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート①

基本の施策	1 手話が言語であることの理解の促進及び障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及に関する施策							
具体的施策	(1)手話に対する理解の促進や条例制定の周知							
計画 (P) ↓ 実施 (D)	▼ 期間中にめざす姿							
	手話が言語であることを理解でき、条例が制定されたことが広まる							
	▼ 主な取り組み内容				R3	R4	R5	R6
	① 啓発リーフレットの作成							
	② 広報紙、ホームページ等による啓発							
	③ ケーブルテレビ等での手話通訳							
	④ 条例制定に伴うYouTube動画配信							
	⑤ 市職員向け研修会の開催							
	▼ 主な成果指標							
	項目	成果指標(単位)	目 標 値・実績値					
					R3	R4	R5	R6
	④	条例制定に伴うYouTube動画の再生回数			500	200	200	200
					約2,500	22,804	51,228	
	④	職員研修の参加者数			400	400	100	100
					—	—	—	
▼ 実施行程								
令和4年度		令和5年度			令和6年度			
・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等を通じた、手話及び条例の啓発 ・ケーブルテレビ等での手話通訳実施		・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等を通じた、手話及び条例の啓発 ・ケーブルテレビ等での手話通訳実施			・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等を通じた、手話及び条例の啓発 ・ケーブルテレビ等での手話通訳実施 ・条例制定3周年記念事業「ヒゲの校長」上映会 実施			
主な取り組み								
●啓発リーフレットの作成・・・甲賀市20歳のつどいでのチラシ啓発 ●広報紙、市ホームページ等による啓発・・・市ホームページ随時 ●あいコムこうか行政情報番組(きらめきこうか)での手話通訳・・・毎週放送51回、52本 ●市職員向けに手話通訳等を利用するためのガイドラインを作成、職員手話サークルを再開、庁内に手話情報を発信した。 (月2回、年25回開催、職員参加人数 16名 延べ189名)								
令和5年度	評価(C)		協議会等意見			改善(A)		
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 ・チラシやインターネットなどを利用した啓発を行ったことで、手話及び条例の施策を浸透することができた。 ・今後も市民や市職員への周知啓発を進める。		【評価等に対する意見】			【次年度における取り組み等】		

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート②

基本の施策	1 手話が言語であることの理解の促進及び障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及に関する施策							
具体的施策	(2)多様なコミュニケーション手段の普及							
計画 (P) ↓ 実施 (D)	▼ 期間中にめざす姿							
	障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段があることを理解する							
	▼ 主な取り組み内容				R3	R4	R5	R6
	① 啓発リーフレットの作成							
	② 甲賀市まちづくり出前講座の充実							
	③ 広報紙、ホームページ等による啓発							
	▼ 主な成果指標							
	項目	成果指標(単位)	目 標 値・実績値					
				R2	R3	R4	R5	R6
	②	講座の開催回数	目標	-	10	10	10	10
			実績	2	5	2	3	
	②	講座の参加人数	目標	-	70	70	70	70
			実績	39	128	30	65	
			目標					
			実績					
▼ 実施行程								
令和4年度			令和5年度			令和6年度		
・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等にて、多様なコミュニケーション手段と合理的配慮を啓発 ・市民向けガイドライン作成 ・職員による情報発信、事業実施に対する配慮の啓発			・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等にて、多様なコミュニケーション手段と合理的配慮を啓発 ・市民向けガイドライン作成 ・職員による情報発信、事業実施に対する配慮の啓発			・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等を通して、手話やその他のコミュニケーション手段に応じた合理的配慮について啓発を行う ・配慮のある情報発信、事業実施の啓発		
主な取り組み								
●啓発リーフレットの作成・・・甲賀市20歳のつどいでのチラシ啓発 ●民生委員児童委員に条例の概要についての説明を行った。 ●条例概要や手話、合理的配慮などについて、あいコムこうか行政情報番組(きらめきこうか)で発信した。 ●条例についてのガイドラインを作成し、コミュニケーション手段の方法等についての周知を図った。								
令和5年度	評価(C)		協議会等意見			改善(A)		
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 対面による出前講座の依頼は少なかったが、広報や市ホームページを利用した啓発は実行できた結果、周知が進んだ。 ・今後も市民や市職員への周知啓発を進める。		【評価等に対する意見】			【次年度における取り組み等】		

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート③

基本の施策	2 障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段を利用しやすい環境づくりに関する施策							
具体的施策	(1)障がい者の情報取得・コミュニケーション手段の確保							
計画 (P) ↓ 実施 (D)	▼ 期間中にめざす姿							
	障がい者にとって情報の取得とコミュニケーションをとれる手段がある							
	▼ 主な取り組み内容							
			R3	R4	R5	R6		
	① 補装具の給付							
	② 日常生活用具の給付							
	③ 専任手話通訳員の設置							
	④ 手話通訳者・要約筆記者の派遣							
	▼ 主な成果指標							
	項目	成果指標(単位)	目 標 値・実績値					
				R2	R3	R4	R5	R6
	④	手話通訳者・要約筆記者の派遣回数	目標	-	300	330	330	330
			実績	267	313	349	330	
			目標					
			実績					
			目標					
実績								
▼ 実施行程								
令和4年度		令和5年度			令和6年度			
・手話通訳者や要約筆記者など、意思疎通を支援する者を登録・派遣 ・遠隔手話を導入(インターネットを用いて市役所本庁舎以外でも手話通訳実施) ・企業等への手話学習研修費補助		・手話通訳者や要約筆記者など、意思疎通を支援する者を登録・派遣			・手話通訳者や要約筆記者など、意思疎通を支援する者を登録・派遣			
令和5年度	主な取り組み							
	●専任手話通訳員 2人 ●手話通訳依頼 330件 ●補装具(補聴器)給付37件(購入26件、修理11件) ●日常生活用具(情報・意思疎通支援用具)給付49件 ●デフメール等で情報を受発信した。							
	評価(C)		協議会等意見			改善(A)		
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 ・主な取り組み内容については、おおむね達成できた。 ・市独自登録手話通訳者を派遣する仕組みに基づき、障がい者の情報保障に取り組んだことにより、おおむね目標は達成できた。		【評価等に対する意見】			【次年度における取り組み等】		

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート④

基本の施策	2 障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段を利用しやすい環境づくりに関する施策							
具体的施策	(2)障がい者に対する合理的配慮の提供							
計画 (P) ↓ 実施 (D)	▼ 期間中にめざす姿							
	様々な場所で、障がい者に対しての合理的配慮が行われている							
	▼ 主な取り組み内容							
			R3	R4	R5	R6		
	① ヘルプマーク・耳マークの掲示							
	② 筆談や補聴支援用具による窓口対応							
	③ 点字封筒の活用							
	④ 合理的配慮の提供に関する市民・事業者向けの啓発							
	▼ 主な成果指標							
	項目	成果指標(単位)		目標値・実績値				
				R3	R4	R5	R6	
	④	合理的配慮の提供に関する啓発の実施回数	目標	10	10	10	10	
			実績	7	4	1		
	④	合理的配慮の提供に関する啓発の参加人数	目標	70	70	70	70	
			実績	128	68	21		
			目標					
		実績						
▼ 実施行程								
令和4年度		令和5年度		令和6年度				
・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等にて、障がい特性と合理的配慮について啓発		・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等にて、障がい特性と合理的配慮について啓発		・リーフレット、広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、出前講座等にて、障がい特性と合理的配慮について啓発				
令和5年度	主な取り組み							
	●啓発リーフレットの作成・・・甲賀市20歳のつどいでのチラシ啓発。 ●あいコムこうか行政情報番組(きらめきこうか)で条例や手話、合理的配慮などの発信をした。 ●ヘルプマークをホームページや広報紙に掲載し周知を図った他、市内各小中学校児童や生徒への周知を依頼した。 ●点字を必要とする方への通知は点字封筒で送付するようにした。							
	評価(C)	協議会等意見		改善(A)				
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 ・市民に対しての合理的配慮についての啓発はおおむね行えたことから。今後はあまり取り組めていなかった事業者向けの啓発にも注力していく。	【評価等に対する意見】		【次年度における取り組み等】				

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート⑤

基本の施策	2 障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段を利用しやすい環境づくりに関する施策						
具体的施策	(3)情報のバリアフリー化の推進						
計画 (P) ↓ 実施 (D)	▼ 期間中にめざす姿						
	障がい特性に応じた方法で情報取得と発信ができる						
	▼ 主な取り組み内容			R3	R4	R5	R6
	① 聴覚障がい者デフメール						
	② 障がい福祉に関する冊子等への音声コードの活用						
	③ 音声コードの積極的な活用						
	④ PC、スマホ講座の開催						
	▼ 主な成果指標						
	項目	成果指標(単位)		R3	R4	R5	R6
	②	音声コードを活用した所属数(課・施設等の数)	目標	5	10	10	10
			実績	1	1	1	
	④	講座の開催回数	目標	1	1	1	1
			実績	1	0	0	
	④	講座の参加人数	目標	10	10	10	10
			実績	12	0	0	
	▼ 実施行程						
	令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	・障がい特性に応じた情報発信または情報取得のためのガイドライン作成(市民向け) ・Uni-Voice(読み上げアプリ)の庁内普及 ・視覚障がい者、聴覚障がい者向けのスマートフォン講座を開催。ICTを活用した情報取得の啓発		・障がい者向けのPC・スマートフォン講座の充実。ICTを活用した情報発信 ・情報取得が難しい人の支援者向けに、スマートフォン相談員養成講座を開催 ・音声文字化システム・コミュニケーション支援ボード導入 ・福祉情報デジタルマガジン発信		・障がい者向けのPC・スマートフォン講座の充実。ICTを活用した情報発信 ・情報取得が難しい人の支援者向けに、スマートフォン相談員養成講座を開催		
主な取り組み							
●聴覚障がい者デフメールで情報の発信を行った。 ●第3次障がい者基本計画(中間見直し)・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画(概要版)に音声コード(ユニボイス)を添付した。							
令和5年度	評価(C)		協議会等意見		改善(A)		
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 ・庁内職員向けには、ガイドラインの作成により周知を行ったが、理解をさらに進める必要があるため、さらなる啓発が必要である。 ・障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段があるため、障がい者が自ら情報を取得するための施策を進める。		【評価等に対する意見】		【次年度における取り組み等】		

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート⑥

基本の施策	2 障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段を利用しやすい環境づくりに関する施策							
具体的施策	4)災害発生時における情報手段の確保							
計画 (P) ↓ 実施 (D)	▼ 期間中にめざす姿							
	災害発生時においても情報の手段がある							
	▼ 主な取り組み内容				R3	R4	R5	R6
	① 避難行動要支援者同意名簿登録案内							
	② NET119の登録支援							
	③ 各種情報伝達サービス(web171等)の周知							
	④ 聴覚障がい者用緊急通報端末の登録案内及び情報発信							
	⑤ 聴覚障がい者用災害時ビブスの交付							
	▼ 主な成果指標							
	項目	成果指標(単位)	目 標 値・実績値					
				R2	R3	R4	R5	R6
	①	障がい者の避難行動要支援者同意名簿の登録人数	目標	-	1250	1350	1350	1350
			実績	1233	1105	1161	1197	
	④	聴覚障がい者用緊急通報端末配付数	目標	-	20	20	20	20
			実績	18	14	15	15	
			目標					
			実績					
▼ 実施行程								
令和4年度		令和5年度			令和6年度			
・電話リレーサービスやNET119の利用啓発、登録支援 ・遠隔手話通訳の利用促進		・障がい者がスマートフォン等を活用し、自主的に情報取得するための支援 ・電話リレーサービスの説明及び登録案内を行う			・障がい者がスマートフォン等を活用し、自主的に情報取得するための支援 ・電話リレーサービスの説明及び登録案内を行う			
主な取り組み								
●避難行動要支援者名簿								
・避難行動要支援者名簿への登録を案内								
・個別避難計画、マイタイムライン作成の啓発(区長・自治会長対象に説明会開催)								
・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成を支援								
・電話リレーサービスの周知(区長配布)								
令和5年度	評価(C)		協議会等意見			改善(A)		
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 ・避難行動要支援者同意名簿の登録案内を行ったことで、登録人数は増加したが、今後も実際の避難の支援につながるよう進める。 ・障がいのある方に情報が伝わる仕組みを検討し進める。		【評価等に対する意見】			【次年度における取り組み等】		

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート⑦

	3 障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段を支援する者の確保及び養成に関する施策						
基本の施策	(1)支援者の確保養成						
具体的施策	▼ 期間中にめざす姿						
計画 (P) ↓ 実施 (D)	ニーズに合わせて、障がい者を支援できる人がある						
	▼ 主な取り組み内容						
				R3	R4	R5	R6
	① 手話奉仕員養成講座						
	② 出前講座「はじめての手話」の開催・内容の充実						
	③ 地域の手話サークルの紹介						
	▼ 主な成果指標						
	項目	成果指標(単位)		目標値・実績値			
				R3	R4	R5	R6
	①	手話奉仕員養成講座の受講人数	目標	18	25	25	30
			実績	16	19	14	20
	②	出前講座の依頼件数	目標	3	7	8	9
			実績	2	2	3	
			目標				
			実績				
▼ 実施行程							
令和4年度		令和5年度		令和6年度			
・出前講座、インターネット、ケーブルテレビ等を通じた手話の啓発 ・簡単な手話のできる職員の育成 ・手話奉仕員養成講座、ステップアップ講座の開催		・出前講座、インターネット、ケーブルテレビ等を通じた手話の啓発 ・簡単な手話のできる職員の育成 ・手話奉仕員養成講座の開催 ・情報取得が難しい人の支援者向けに、スマートフォン相談員養成講座を開催		・出前講座、インターネット、ケーブルテレビ等を通じた手話の啓発 ・簡単な手話のできる職員の育成 ・手話奉仕員養成講座の開催 ・情報取得が難しい人の支援者向けに、スマートフォン相談員養成講座を開催			
主な取り組み							
令和5年度	●手話奉仕員養成講座(後期)を開催した。 全23回開催、受講者19人(うち修了者14名) ●条例や手話に関する出前講座 3件 (5/24, 11/22, 1/24)						
	評価(C)		協議会等意見		改善(A)		
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 ・手話を身近に使ってもらえる人を増やすための啓発は実施できた。今後は奉仕員養成講座の受講生が、手話通訳者としてステップアップできるよう支援する。 ・サークル活動など対面での活動はコロナ禍が明けてから再開されている。		【評価等に対する意見】		【次年度における取り組み等】		

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート⑧

	3 障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段を支援する者の確保及び養成に関する施策									
基本の施策	(2)市の施設における市民サービスの向上									
具体的施策	▼ 期間中にめざす姿									
計画 (P) ↓ 実施 (D)	・市の施設において、障がい特性に応じてサービスを行える									
	▼ 主な取り組み内容									
				R3	R4	R5	R6			
	① 市職員向け手話研修の実施									
	② 市職員の手話サークルの開催									
	③ 「やさしい日本語」に関する情報発信									
	▼ 主な成果指標									
	項目	成果指標(単位)			目標値・実績値					
					R3	R4	R5	R6		
	①	手話研修の受講者数	目標	目標	5	10	15	15		
			実績	実績	－	18	16			
			目標	目標						
			実績	実績						
			目標	目標						
			実績	実績						
	▼ 実施行程									
	令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	・職員向けの手話研修(web研修の案内他) ・職員の手話サークル活動の支援 ・やさしい日本語での情報発信の検討			・職員の手話サークル活動の支援 ・やさしい日本語での情報発信			・職員の手話サークル活動の支援 ・やさしい日本語での情報発信			
	主な取り組み									
令和5年度	●職員向け手話サークルの実施(4月～3月の全25回)									
	評価(C)			協議会等意見			改善(A)			
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】			【評価等に対する意見】			【次年度における取り組み等】			
	・市職員向けの手話研修の実施および手話サークル活動の支援を行った。 ・今後も市職員への啓発を進める。									

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート⑨

4 障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段での情報発信及び情報提供に関する施策								
基本の施策	(1) 情報を得る権利の保障							
具体的施策	▼ 期間中にめざす姿							
計画 (P) ↓ 実施 (D)	障がい特性に応じたコミュニケーション手段で情報を得ることができる							
	▼ 主な取り組み内容							
			R3	R4	R5	R6		
	① 広報紙の音訳							
	② アクセシビリティに配慮した市ホームページの作成							
	③ 市公式LINEの開設							
	▼ 主な成果指標							
	項目	成果指標(単位)	目 標 値・実績値					
				R2	R3	R4	R5	R6
	②	ホームページのアクセシビリティ評価	目標	-	E	D	C	C
			実績	E	D	D	C	
	③	市公式LINEのアカウント登録数	目標	-	7000	8000	9000	10,000
			実績	1000	約10000	13,967	17,753	
			目標					
			実績					
▼ 実施行程								
令和4年度		令和5年度		令和6年度				
・情報発信のあり方検討 ・アプリ等の情報提供 ・行政情報発信・情報バリアフリーのためのニーズ調査 ・ホームページリニューアル		・アプリ等の情報提供 ・情報バリアフリーのための検討		・アプリ等の情報提供 ・情報バリアフリーのための検討				
主な取り組み								
令和5年度	●市ホームページに文字拡大、読み上げ機能及び外国語自動翻訳機能を掲載 ●市公式LINEを通しての対応							
	評価(C)	協議会等意見		改善(A)				
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 ・市ホームページ、市公式LINEによる情報発信を実施した。 ・障がい特性に応じた情報発信が必要なため、障がいのある方に情報が伝わる仕組みを検討してきているが、今後も進めていく。	【評価等に対する意見】		【次年度における取り組み等】				

手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例に規定する施策 目標等管理シート⑩

5 学校教育における障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段の理解及び普及啓発を図るための施策								
基本の施策	(1)学校教育における福祉教育等の充実							
具体的施策	▼ 期間中にめざす姿							
計画 (P) ↓ 実施 (D)	学校において福祉教育が充実する							
	▼ 主な取り組み内容							
			R3	R4	R5	R6		
	① 障がい者理解教育の機会の拡大							
	② 点字・手話などを学ぶ場の提供							
	③ 総合学習等への障がい者や手話通訳者の派遣							
	▼ 主な成果指標							
	項目	成果指標(単位)	目 標 値・実績値					
				R2	R3	R4	R5	R6
	③	小中学校への手話通訳者の派遣回数	目標	-	4	6	8	10
			実績	1	2	2	1	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	▼ 実施行程							
	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
	・学校の総合学習(福祉学習)等で障がい特性や手話及びコミュニケーション手段と合理的配慮の啓発		・学校の総合学習(福祉学習)等で障がい特性や手話及びコミュニケーション手段と合理的配慮の啓発		・学校の総合学習(福祉学習)等で障がい特性や手話及びコミュニケーション手段と合理的配慮の啓発			
	主な取り組み							
令和5年度	●学校の総合学習で、手話通訳者、聴覚障がい者を講師に手話講座を実施した。3校(R5.7.6,10.27,11.18)							
	評価(C)		協議会等意見		改善(A)			
	【目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】 ・小中学校等で実施される福祉学習における手話講座は多くはなかった。今後取り組む校数、児童生徒数を増やすため教育委員会と連携して進めていく。		【評価等に対する意見】		【次年度における取り組み等】			